

## 春は染みてきていた

五月の風薫る中 新しい環境に飛び込んだ皆さんはいろいろなことに戸惑いを覚えているのではないですか。

出張の車中で読んだ随筆の中に、「気づかぬうち 春はこの町に染みてきていたのである」という言葉を見つけてなぜか心が引かれました。「染みる」には知らず知らずの間に変わっているので自分ではなかなか自覚できない印象があります。「染みついた」という言葉は昨今必ずしもよい意味ばかりではない表現ですが、ふと気がつくと人を少し驚かせるような力を發揮する、そんな周りからの何気ない影響で力を蓄えて少しずつ変わっている自分に気がつくことではないでしょうか。努力して前に進むことと同じように、同じ環境にゆっくり身を置くことで身についた力は思いのほか潜在能力になっているのです。ゆっくりと染みてきたことは意外と自分では気がつかず、いつしか当たり前になっているかもしれません。「当たり前のレベルが日本一でありたい」と言う標語を耳にしたとき、どうすれば…と思ったのですが、

副院長兼脳神経外科部長

鈴鹿 知直

環境や風土かもしれませんね。一朝一夕ではなくやはり染みてきたものを一度はすべて受け入れてその上で取捨選択。

話す言葉と読む言葉、それぞれに表情があり響きがある。受けとる側にも暁がある。

若いときは何でも柔軟に吸収してしみこみやすいけれど、年を重ねたことで染みこまないことがいつしか気にならなくなり、染みこまないようにと思い込んだ自分がなぜか小さく感じさせられました。

何回季を巡っていても受け入れて変わってきていた  
-春は染みてきていた-



## やさしい 疾患手帳

### 爪の水虫(爪白癬)について

皮膚科 鈴木 優子



#### Profile プロフィール

- 所属／皮膚科 役職／医師
- 専門分野／皮膚科一般
- 認定医・専門医等／日本皮膚科学会専門医
- 趣味／読書 好きな食べ物／甘い物、果物
- 自己PR／スタッフと協力して、一生懸命診察を行っています。お気軽にご相談ください。

皮膚科外来には爪の悩みで受診される患者さんがいらっしゃいます。

たとえば

- ・爪が厚くなり爪切りで自宅で切れなくなった。
- ・爪が白く濁っている。

じつはこれは爪の水虫(爪白癬)の症状であることが多いのです。

爪白癬を引き起こす白癬菌というのはカビの一種で、私たちの皮膚や爪、髪の毛などに住み着きます。

爪白癬は外見的な問題だけでなく、足の指間、足の裏の足白癬を治りにくくしたり、家族へうつす原因となることがあります。

爪は表面が硬く、白癬菌はその奥に潜んでいるので、爪の中まで浸透しにくい塗り薬だけでは、白癬菌まで薬剤が届かないこともあります。

そこで、爪白癬の治療には飲み薬が使われます。飲み薬には血流にのって爪まで運ばれ、白癬菌を死滅させる効果があります。お薬の服用期間は半年から1年ほどです。新しい爪に生え替わりながら、ゆっ



くりと治っていきます。

ただし、内服薬はほかの薬との飲み合わせが悪い場合があります。また肝臓へ少し負担をかけるので、事前に採血を行い、内服できるかチェックしたうえで処方します。

爪の変形、厚くなってきたなど気になる症状がある方は皮膚科へ一度ご相談ください。

## 新任医師紹介

かね こ あい  
氏名／金子 愛

- 所属…形成外科
- 趣味…音楽、育児
- 好きな食べ物…すいか、みそパン

訴えや不安、心配なことを気軽にご相談ください。良い方法と一緒に探していくましょう。

